

 消費者教育NPO法人 お金の学校 くまもと	消費者教育NPO法人 お金の学校くまもと 会報・第3号 2005年12月発行
	〒862-0950 熊本市水前寺2-21-19水前寺NPOハウス2F TEL・FAX 096-384-4453 http://www7a.biglobe.ne.jp/~ngaku/ mica@mtj.biglobe.ne.jp 発行責任者 徳村美佳

支援するとは

徳村美佳

最近また多重債務のご相談を受けました。20歳代の若者が当事者です。バイト先の先輩に頼まれて、イヤと言えずに名義を貸しています。若者の口からは、「首を吊りたい」「勘当されてもしかたない」「親に迷惑かけた」という言葉が出てきました。その気持ちに偽りはないと思います。しかし、自分の収入15万円をどう振り分けるかを家計収支表に記入してもらったところ、「いろいろほしいものがあるからなあ」といいながら、借金返済10万円、娯楽費3万、交際費1万、ガソリン代1万円と記入しました。

住むことも食べることも全て親まかせで生きてきた若者は、人生の上での優先順位をつけることができません。自分でどうにかしなければという気迫も全くありません。この若者が悪いというよりも、こういう若者に育ってしまったのです。こういう相談を受けていると、自分に何ができるのだろうかと不安になります。

先日、あるテレビ番組を見ていたら、起業を支援する活動をしている男性がインタビューに答えていました。「まず、自分は支援なんかできっこないと考える（だって、自分は起業したこともないし）、そして全て受け止める（こんなんでき業できるわけがないと思っても、とにかく受け止める）、そのうえで同じ目線で考える、起業家も支援者も目的は同じ」

なるほどなあ～と思いました。全部、クレジットカウンセリング活動にもいえることだよなあと思います。さらにこの男性は、「支援してやってるという意識を捨てる」、「対等な対話によって活動を生み出す楽しさ」、「パートナーとして一緒に問題解決する」とも話していました。かっこいい！！ ですが・・・凡人の私は、こういう境地にはなかなかたどり着けません・・・

最後に、このかっこよい発言する男性は、成功する起業の3つのポイントも話していました。

- ・ オンリーワンであること（圧倒的なオリジナリティー）
- ・ 情熱があること（継続的な情熱）
- ・ 行動力（企画はよくても一歩踏み出す行動力がない場合が多い）

どうか神様、私に3つのお願いがかなう魔法を教えてください・・・

来年はもっと前向きな発言ができるようになりたいと思います。

今年も残りわずかとなりました。みなさま、よいお年をお迎えください。

クレジットカウンセリングの現状

ある日、徳村に一通のメールが届きました。会報第2号では、はじめて徳村に届いたご相談のメールをご紹介いたしました。今号はその続きです。

このメールから、多重債務に陥るとはどのようなことなのか、どのような心境なのか、おわかりいただける部分があるのではないかと考えました。ご本人の承諾を得て、ご紹介いたします。

徳村さま

こんばんは。やはり徳村さんに相談してみてよかったです。実際に借金がなくなったとか減ったというわけではありませんが、ひとつ肩の荷がおりたというかんじです。もう一度、自分の借金を計算し、勉強しながら今後を考えていきたいと思います。”調停”ということを知らなかったの。検討後ご紹介くださるところに相談してみたいと考えています。また解らないことなど出てくるかと思しますので、是非ご相談に乗っていただきたいと思ひます。本当にありがとうございました。またご報告なども兼ねてメールします。

人野良子（仮名）

長い長いご相談メール（前号会報第2号で一部をご紹介しました）に長い長いお返事を差し上げたところ、このようなメールが届きました。ほっとひと安心した徳村ですが、多重債務の問題は、メールで相談してすぐに解決するほど、簡単な問題ではありません。

人野良子さんから再びメールが届きました。つづきを読みましょう。

徳村さま

相談してやがて1週間が経とうとしています。21日のお昼にご紹介いただいた相談先にご連絡しましたが、今のところ平日の仕事が休めず相談に行くことができません。そうこうしている間にも未返済の会社から支払いが確認できないという連絡もあり、今は返済のことを考えることではいっばいです。ここ数ヶ月は返済日に送れながらも、返済→借入を繰り返して返済してきましたが、とうとう限界がやってきたようです。督促の電話に何と言えよいか、どうやって返済資金を作るか・・・そんなことを考えて1日が過ぎ、また1日が過ぎといったかんじです。とりあえず1社には今月分の返済を終え、あと2社が残り、そのうち1社には「明日までには払います」といいながら結局資金繰りができずに明日を待つといった状況です。こういった場合、返済のできないところには何と言って返済ができない旨を伝えればいんでしょうか？「返済が遅れますのでもう少し待ってください」と素直に言ってしまえば済むことなんでしょうか？

両親に打ち明けることも考えましたが今の私にはまだ勇気が足りません。両親が就職で他県へ行く弟の生活準備をする傍ら、娘は定職にも就かずに多額の借金を抱えてるなんて・・・

債権整理のこともいろいろ考えました。考えていると余計にわからなくなって。。他に考えること（今日明日の返済のこと）もあって、でもどちらも「早く考えてどうにかしなきゃ」と思うと、どちらも中途半端になってしまってます。。

とりあえず自分なりにできる限り整理してみました。ほとんど捨ててしまっていて最近のものしか残っていなかったけど契約書や請求書をファイルにして、残額を全て明確にしてみました。自分で思っていたよりもはるかに多い借金でした。。8社で約400万。300万超なんてものじゃなかったです・・・。現在の月の手取りの収入が9万弱。毎月の返済額はその倍・・・。一刻も早くどうにかしなきゃいけない状況ですね・・・。

近々休みをとって弁護士さんのところに行こうと思います。それまでに支払いを待ってもらっている2社をどうにかしなきゃいけないのが今の課題ですね。こうやって徳村さんにメールを書いていると徐々に自分がやるべきことが見えてきました^^もう少し早い時期にメールすればよかったとちょっと後悔しています。

まだお話したいこともありますが、大事なことでないのもまた今度にしたいと思います。また長々とすみません。

徳村さま

お忙しいのにいつも心のこもったお返事をいただき、とてもうれしく思います。

今日は朝から胃痛で仕事を休み、こんなことならご紹介いただいた相談先に予約を入れておけばと思っていました。胃は痛いながらも時間もできたことだし電話相談くらいはできると思い、とりあえず今日、返済の遅れているところに何と云えばよいかを相談するために、タウンページをめくって電話をしてみました。

最初はネット検索でみつけた”NPO 法人の金融トラブルホットライン”へ。相談者が多いらしくずっと話中でした。次にタウンページで探した県の消費生活センター。こちらも話中でした。熊本市の消費者センターへかけてみたところ、女性の相談員の方が電話にでられました。裁判所の地下で月曜日と木曜日に行われる集団相談会のようなものに参加してみてもどうかということでした。「今日何と云えばよいか」というところの回答がもらえなかったので、被害者の会にも電話してみました。徳村さんと同じように「払えません」とそのまま言うしかないという回答をいただきました。今後のことを聞かれたので、「消費者センターで教えていただいた裁判所の説明会に参加しようかと考えている」と言ったところ、「裁判所の集団説明会は今後どうするかは相談ではなく、自己破産をすることに決めた人たちに自己破産をするためにどうすればよいかを説明してくれるところ」だと教えてくれました。熊本弁護士会のほうにも電話して”法律扶助”について教えていただきました。

あまりあちこちに電話して話を聞きすぎたのか、結局何がいちばんよくて何からすればいいのかよくわからなくなってきました。そうして返済の遅れている会社に電話をし、返済できるあてもないのに口からは「今日は払います」と言っていました・・・そうして結局使い切るところまで使いきって借金を増やしての返済となりました・・・こうやって債権整理を考えている間にも借金は増えてしまいました・・・やっちはいけないということはわかっていますが、そのときは必死で返済のことを考え泥沼にまた足を深く沈めている状況です。

人野良子さん、体調を崩しながらも、今、自分にできることを精一杯やろうとしています。この時点での人野良子さんの一番の悩みは、「今日返済しなければならない借金のこと」です。払えないのはわかっているのに、口から出る言葉は「今日は払います」です。払えないのはわかっているのに払うと言ってしまふ。それはなぜでしょう？みなさんは、良子さんの気持ちを理解できますか？メールのつづきを読んでみましょう。

今月の未払い返済はあと1件。振込用紙は届きましたが今のところ督促の電話などはありません。今日明日の支払いのことではなく、やっと先のことをしっかりと考えていけるのではないかという小さな希望が見えてきました。

>>人野さんの状況、相当大変だと思います。

>>よくここまでがんばってこられたなあと思います。

>>どうやってここまでがんばってこられたのでしょうか。

>>きっと、今まで努力してきた事があったからこそ、

>>ここまでがんばれたのだと思います。

>>努力してこられた事は何か？

努力してきたものなど何もありません。見栄を張って収入以上のものを買ったり、自分の借金の金額すら把握することもなく、借りたお金も他人のお金という感覚もなく、「いつかどうにかなる」という安易な考えで生活してきました。「両親に負担はかけたくない」という奇麗事があって、でもただ親に「〇〇を買うからお金貸して」ということもできない自分がそこにいました。今でも同じです。母が口癖のように言う「ちゃんと貯金しときなさい」という言葉にも「うん」と返事をしておきながら、実は貯金どころの状況ではない・・・しかし、母は私が貯金していると思っている・・・そんな状況で、母には「お金を貸して」なんて言えませんでした。

以前は「お金が足りなくなったら借りればいい」と思っていました。窮地に立った今は「借金のない生活ができたらいいのに」と思っています。(みなさんそうだと思いますが・・・)早く自分の借金を整理してしまっ、普通の生活がしたいです。贅沢しなくてもいいから、何にも怯えることもなく、両親に隠し事するもなく・・・。お金の悩みなんてもうたくさんです。

いつも夜遅くにメールしてすみません。今日は借金が増えたものの、遅れた返済をやっと1社終えたのでちょっと安心してます。この状況もあと数日しか続かないのかもしれませんが、数日間ずっと緊張していたので、今夜だけはこの安堵感を大切にしたいと思います。^
^おやすみなさい。

人野良子

お金の悩みなんてもうたくさん・・・良子さんの心からの叫びです。この日は借金の返済のために借金をしています。そしてほんのひとときの緊張から開放され、安堵する時間を過ごすのです。みなさん、このような生活が想像できますか？

徳村様

ご無沙汰しております。人野良子です。最後のメールから3ヶ月以上たってしまいました。この間にもいろいろありましたが、本日ようやく弁護士の先生とお話することができ、整理をお願いしました。今思えば、なぜもっと早く相談しなかったのかと悔やまれます。でも、これでやっと解決への道が見えてきました。まだ整理の方法は確定していませんが、任意整理か個人再生法のどちらかになるということです。地元法律事務所をお願いしました。後は、これからの自分の在り方も考えつつ、完済を目指したいと思います。

全てではないですが、両親にも打ち明けることができ（自分から打ち明けたわけではないんですが・・・）、精神的に楽になりました。全ては徳村さんのお話を聞いたことから始まりました。本当にありがとうございました。夜遅いメールにもすぐに返事を下さって、感激しました！これからも私と同じような問題を抱えている方々の支えになってあげてください。今は新しい職場に入ったばかりで時間もありませんが、いつか徳村さんに直接お礼を言いたいと思います。本当に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

人野良子

お金の悩みなんてもうたくさん・・・というメールが届いてから、良子さんからは、しばらく何の連絡もありませんでした。

どうしてるかなあと心配していた矢先に、うれしいメールが届きました。

良子さんは、気軽にクレジットを利用したことをきっかけに、借金のための借金を繰り返し本当に苦しみました。しかし、このままではいけない、どうにかしなければという良子さんの強い気持ちで、解決への道に結びついたのではないかと思います。

このメールから、どのようなことが見えてくるでしょうか？

みなさんは、どのように考えましたか？

私たちにできることは、なんでしょうか？

仲間・なかま・ナカマ・NAKAMA

私が子どもの頃は、身近な環境の中にたくさんの遊び場がありました、おもちゃと言えばどれも手作りでした。ゴム銃やパッチン、竹馬やチャンバラごっこの刀など。。だからこそ愛着も あったし、壊れたらなんとか直そうとしたものです。しかし、今は、量販店に行けばいくらでも新しいおもちゃが手に入ります。壊れたらゴミ...世の中 は豊かになったけど、なにか満たされない寂しさを感じます。

1・自分でチェックして直してみよう！

家庭でのおもちゃの診察ポイントを記載しますので、まずご自分でチェックしてみてください。

2・チェックポイント 「電池」

最近の玩具は電池を使ったものが多いですね。そのような玩具が動かなくなった、故障したと思っただけで電池をチェックしてみてください。

① 電池が切れていませんか？

最近入れたばかりなのに...と思っても電池の消耗の激しいおもちゃもあります。買った時についている電池の寿命は短いです。意外なところに電池が入っているものもあります。(ボタン電池など)

② 電池の入れ方が間違っていないですか？

プラスとマイナスが入れ替わっていないかチェックしてください。多く電池を使っているものは1本でも間違っていると動きません。(注意！)電池を使うおもちゃを長期にわたって使用しない場合は必ず電池ボックスから電池を外しておいて下さい。特に+同士、-同士が長期にわたって接触していると電池が「液漏れ」をおこし、金具はもちろんのこと、おもちゃをだめにしてしまう可能性があります。(注意！電池の「液漏れ」)電池の液漏れの液体は「やけど」をおこしますのでビニール手袋をするなど、直接接触しないようにしてください。手や体についた場合はきれいに洗ってください。

③ 電池の種類が間違っていないですか？

単1、単2・・・ボタン電池の種類の違い(LR44など)をチェックしてください。

他にもいくつかの簡単なチェックポイントがありますが、紙面の都合上省略させていただきます。家庭でできるくらいのおちょっとした修理で直ることが多いのも事実です。

おもちゃの病院ちゃお

〒865-0023 熊本県玉名市大倉 1505 番地
おおくらの森幼稚園内 担当：木村
電話 0968-72-2500

私たちは、日頃、幼稚園の職員として子ども達と一緒に毎
日楽しく過ごしています。そんな中、メカニック大好き先生
やただ単に、おもちゃが好きな先生が集まってできた病院が、
「おもちゃの病院ちゃお」です。
地域でのイベントや、バザー等に神出鬼没で出前修理をし
て子どもたちと触れあっています。子供心に、おもちゃとい
う物は、夢があって、とても楽しい遊び道具です。そんな子
ども達が大切にしているおもちゃを、ひとつでも多く修理し
てあげることができ、子ども達の笑顔がひとつふたつと花を
咲かせてくれたらうれしいなと思って、自分たちの余暇を利
用して行っている活動です。おもちゃの病院と胸を張ってい
える規模ではありませんが、今この時代に、おもちゃの修理
を通して物を大切にする心、科学する心、そして人を大切に
思う心を子ども達にもってもらいたいと願っています。

おもちゃの病院のお約束

- ◎修理代は、無料。モーターや豆球など、実費がかかった場合のみ部品代を頂きます。
- ◎保証期間内のおもちゃは、直接メーカーにお持ちください。
- ◎高価な物は直せません。
- ◎セットおもちゃは、必ずセットでお持ちください。
(例、ラジコンの送信機など)
- ※ファミコン、ピコ、ゲームボーイ等は、ACアダプター、ソフ
ト接続コードもお持ちください。
- ◎電池の消耗が原因で動かないおもちゃが多く見受けら
れます。一度新しい電池で試してから病院にお持ちください。
- ◎受付時に診察申込書等に記入していただきます。
なるべく詳しく故障状態をお書きください
- ◎時間が掛かるものは入院をお願いします。
- ◎診断の結果、致命的あるいは入手困難な部品が壊れているなど
のおもちゃは治らない場合があります。



ちよっとコラム 物を大切にする心や人を大切に
思う心は、こどもの時にしっかりと大人が教え
ていかなければならない事だとも思います。
便利すぎる社会、溢れんばかりの情報等、子ど
もを取り巻く環境はものすごいスピードで変化しています。教育の
現場では、子ども達の自主性を大切にしたい、感性を育てたいと躍
起になっていますが、社会の流れに逆行しているようにも見えてき
ます。おもちゃの病院を通し、社会の流れに少し反発して大好きな
おもちゃを抱えてニコニコしているような、そんな子どもを育てた
いと思っています。

去る平成17年12月4日(日) くまもと県民交流館パリア会議室1において

県民の県民による県民のための

第2回熊本おこづかい会議

子どもにお金のことを教えられる大人になろう！

を開催しました。

第1部は「おこづかいについて考えよう！」と題し、ゲストスピーカーに「男の子をお持ちのお父さん」である弁護士の鹿瀬島正剛さんと消費生活アドバイザーの坂田康さんをお迎えして、徳村代表が突っ込みを入れながらお話を伺いました。

第2部の「教えて！おこづかい」は第1回のおこづかい会議で「我が家の事例」を紹介して下さった3名のファイナンシャルプランナー、赤松祐さん、佐藤名美さん、椿久美子さんに、よくある質問「おこづかいの金額」と「祖父母からのおこづかい」についてコメントをいただきました。

参加者が思いのほか少なくて残念でしたが、終了後回収したアンケートのなかで下記のような暖かい、ご意見・ご感想をいただきました。

- 子どもの金銭教育に関して、日頃悩むところの多い私でしたが、やはり今回「おこづかい」が目的ではなく「お金」とうまくつきあうための実践場としてとらえていくことが大切なんだという発想にとてもヒントを与えていただきました。子どもにどう育てて欲しいかという思いを主人とまた話しながら子どもたちにおろしていけたらと思います。(41歳女性)
- 家族で考えるものという気持ちで夫婦(夫は自分が参加するなんて・・・と思っていたようですが)で来ました。夫は来年も来てもいいよと満足げです。(女性)
- 1部：ゲストの方(父親の立場での話は初めてでしたので興味深いものでした)のスピーチに対して時間があれば母親から(参加しておられたので)反論も聞きたかったですね。
- 2部：祖父母からのおこづかいについてのご意見が出ていましたが、我が家では3人(男・女・男)の内、2人は就職していますが2人とも、初任給・お年玉等プレゼントを4人の祖父母に還元しているようです。(53歳女性)
- 解答(正解・不正解)はなくとも、法則(行動傾向・誘惑因子としての)はあるかもしれません。
よって、いろいろな人の話を聞いてみる価値はある(自分なりに分析)⇒面白いです。
(年齢性別不明)
- 各小中学校を回って話をしていただきたいです。(52歳女性)
- 玉名の幼稚園・小学校にもぜひワークショップの機会をつくって下さい。(47歳女性)
- いろいろな話を聞いてプラスになったと思います。(15歳女性)
- 子育てが終わり、孫に接する心構えができました。(女性)

また、参加者から「すごく良い内容だったのに(参加が)少なくてもったいなかったね」のお言葉をいただき、スタッフ一同改めて「気合」を入れなおしました。皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。